

財団処理欄	受付No.
提出日	2024/9/1

記入例

J R 西日本あんしん社会財団 御中

2025年度 A E D 訓練器等助成事業 応募申請書

1. 提供器具

A E D 訓練器、訓練用人形、付属品(キャリングバッグ含む)	新規希望数								
	成人	1	セット	小児	1	セット	乳児	1	セット

(既助成器具の老朽不具合に伴う取替による応募〔既採択団体のみ対象〕)

A E D 訓練器、訓練用人形、付属品(キャリングバッグ含む)	既助成器具の取替希望数								
	成人		セット	小児		セット	乳児		セット

※「4. 活動計画」に、既助成器具の不具合状況及び講習会等への支障状況の詳細を記入してください

2. 申請団体

団体名(会社・学校等)又はグループ名	ふりがな	あんしんきゅうめいくらぶ							
	団体名	あんしん救命クラブ							
団体設立年月日(経過年月)又は啓発活動の開始年月日(実施期間)	2012 年 4 月 1 日 (申請書記入日現在、設立後開始後 12 年 5 か月)								
団体種別	<input type="checkbox"/> NPO法人 <input type="checkbox"/> 自主防災会 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 会社 <input checked="" type="checkbox"/> 任意団体								
	<input type="checkbox"/> その他: ()								
所在地	〒	530	-	8341					
	ふりがな	おおさかしきたくしばたにちょうめ							
	住所	大阪市北区芝田二丁目4番24号							
	電話	06-6375-3202	Fax	06-6375-3229					
	E-mail	info@irw-relief-f.or.jp							
	URL	https://www.irw-relief-f.or.jp/							
代表者	役職	理事長	ふりがな	ざいだん たろう					
			氏名	財団 太郎					
	電話	06-6375-3202	Fax	06-6375-3229					
	E-mail	info@irw-relief-f.or.jp							
救命講習指導資格等の有無	応急手当普及員である								
代表者以外の連絡先 <input checked="" type="checkbox"/>	役職	副理事長	ふりがな	ざいだん じろう					
			氏名	財団 次郎					
	電話	06-1234-5678	Fax	06-1234-5678					
代表者以外の連絡先を必ず記入してください。 ※主な連絡先として指定する場合はチェックを入れてください	E-mail	nisi-nihon-ansinsyakai.1234@e-mail.ne.jp							
	救命講習指導資格等の有無	応急手当普及員である (例: 応急手当普及員である、などを記入してください)							
団体の構成員	総数	55 名 (会員等団体に関する総人数を記入してください)							
	通常活動に従事する人数	10 名 (通常救命処置の普及活動に従事する人数を記入してください〔再掲〕)							
団体の主な活動(救命処置の普及について)	大阪市内の企業や小中学校の生徒を中心に定期的に普通救命講習会を実施している。最近では、当団体HPで講習会の依頼を随時受け付けており、新規の企業や学校からの依頼も多く、大阪府外においても救命処置の普及活動が拡がりつつある。また、地域のイベント会場の防災ブースで胸骨圧迫やAEDの体験コーナーを出展し、より多くの方にAEDのことを知ってもらえるように取り組んでいる。								

3. 過去の実績等

【過去の講習実績】			
過去1年間（2023年8月1日～2024年7月31日）に救命処置等の講習を実施したことがあれば記入してください。			
■時期、場所、対象者、対象人数、実施方法等			
2023. 9. 22	場所：〇〇有限会社 会議室	対象者：社員（10名）	実施方法：普通救命講習Ⅱ
2023. 10. 15	場所：〇〇会館	対象者：〇〇市自主防災会＋地域住民会員（30名）	実施方法：防災訓練・体験コーナー
2023. 11. 13	場所：〇〇市立第三小学校 体育館	対象者：教職員（20名）	実施方法：普通救命講習Ⅰ
2024. 2. 22	場所：〇〇府立第四高校 体育館	対象者：運動部生徒＋教職員（30名）	実施方法：救命入門コース
2024. 3. 13	場所：〇〇市立中央中学校 体育館	対象者：教職員（30名）	実施方法：普通救命講習Ⅱ
2024. 4. 16	場所：〇〇会館	対象者：〇〇市自主防災会＋地域住民会員（30名）	実施方法：普通救命講習Ⅰ
2024. 5. 24	場所：〇〇市立第一小学校 体育館	対象者：教職員（20名）	実施方法：普通救命講習Ⅰ
2024. 6. 28	場所：〇〇株式会社 会議室	対象者：社員（30名）	実施方法：救命入門コース
2024. 7. 3	場所：〇〇市立第二中学校 体育館	対象者：2年生生徒（150名）	実施方法：普通救命講習Ⅰ
2024. 7. 23	場所：〇〇公園	対象者：〇〇市まつり防災ブース展示（50名）	実施方法：展示・体験コーナー

4. 応募目的（動機）

【応募目的（動機）】
本助成に応募した目的及び動機を記入してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・普利団体が申請する場合は、当助成事業に申請を行う理由も併せてご記入ください ・既助成器具の老朽不具合に伴う取替による応募の場合は、不具合状況及び講習会等への支障状況の詳細を記入してください
<p>当団体はより多くの方にもしもの時に命を救う方法を知って欲しいという目的で活動を始めました。多くの方に、繰り返し救命処置に触れる機会を持っていただくことにより、もしもの時に命を救える可能性を高めていくことはもとより、救命処置が誰にとっても身近で当たり前の存在になることを目指しています。最近では学校での運動中の事故も増えています。是非、教職員の方にも救命処置を学び子どもたちの安全を守っていただきたいと考えています。</p> <p>本助成に応募したのは、これまでの活動を拡充したいためです。</p> <p>これまではAED訓練器と訓練用人体は消防から借用していましたが、消防の都合で使いたい時に借りることができないなど、講習依頼を断らざるを得ない状況があり、計画通りに実施できないことが多々ありました。講習会等の計画を拡充するにあたり、そのような状況を回避するため自団体所有の器具を持ちたいと思っております。</p>

5. 現在の保有器具数

・通常使用可能な訓練用AED	0	台	・通常使用可能な訓練用人体	0	体	[参考] あっばくんライト	0	台
----------------	---	---	---------------	---	---	---------------	---	---

※既採択団体は、既助成器具の台数を括弧書きで記入してください。

[例：通常使用可能な訓練用AED 3台のうち、既助成器具1台の場合、3（1）と記入してください。]

6. 指導者の在籍状況

3 人	保有資格内訳	・応急手当普及員	3	人	・赤十字救急法指導員		人	・救急救命士		人
		・BLSインストラクター		人	・MFAインストラクター		人			
		・ICLSコースインストラクター		人	・その他※		人			

※その他〔資格名：

〕

→その他に記載がある場合、修了証のコピーと指導者資格講習の内容がわかるカリキュラムを添付してください。

※一人が複数の資格を有する場合は、保有する全てを「保有資格内訳」欄に記入してください。

7. 年間スケジュール及び実施方法

○3年間分(2025年4月～2028年3月)の年間スケジュールを記載してください

■2025年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間 [分]					参加人数 [人]					使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)		
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベン ト (分)	時間内訳		※1 講習 (一般) (人)	※1 講習 (学校) (人)	イ ベン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グ ル ー プ 数 (グループ)	1 当 り の 人 数 (人)	訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 練 用 人 形 1 体 数 (人)	指 導 者 数 (人)	再 掲 有 資 格 指 導 者 数 (人)		訓 練 用 人 形 1 体 数 (人)	
						実 技 (分)	実 技 以 外 (分)														実 技 時 間 1 人 当 り の (分)
2025. 4. 28	〇〇救命講習会	〇〇会社 〇〇部	120			90	30	18	10			10	2	5	2	2	5	4	4	2	<p>申請中の器具数を提供された前提での計画を策定してください。</p> <p>使用する訓練用入形の種類(成人、小児、乳児)と数を記載してください。</p> <p>・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用入形は成人2体を使用するため、消防から不足器具1体ならびに指導者1名の補充を行い、実施する。</p>
2025. 7. 25	〇〇まつり 防災ブース 展示	地域住民			180	180		11			50	50			3	3	17	3	3	1	<p>実施日が決まっている場合は、可能な限り記載してください。</p> <p>【1. 提供器具】希望数+【5. 現在の保有器具数】を超える場合は不足器具の手配方法を、【6. 指導者の在籍状況】の人数を超える場合は、指導者の手配方法を記載してください。</p> <p>・自治会夏祭り会場の防災ブースにて、展示及び訓練用入形を用いた実技講習を行う。まつりの開催時間3時間のうち、50人の参加者を呼び込み実施する。 ・訓練用入形は成人・小児・乳児各1体を使用する。 この地域では、地元消防が講習を実施。団体主催の講習は実施できないため、イベントとして開催する。</p>
2025年11月	〇〇救命 入門コース	〇〇小学校 3年生	90			75	15	15	120			120	12	10	24	24	5	6	3	0	<p>・DVDによる講義を15分実施した後、12班に分かれて実技を行う。 ・訓練用入形は成人12体、小児12体を使用するため、消防から不足器具を手配する。 ・指導者6人の内訳は、有資格者3人と補佐として配置する普通救命講習修了者3人である。</p>
2026年2月	〇〇市 自主防災会 救命講習会★	〇〇市自主防災会 員・地域住民	120			90	30	23	12			12	3	4	3	3	4	2	2	1	<p>・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用入形は成人・小児・乳児各1体を使用し、実施する。</p>
内訳			240	90	180	435	75	—	22	120	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<p>特にアピールしたい講習会名称の後ろに★を付け、アピールしたい点を下記へ具体的に記載してください。</p>
合計			510			—			192			192									

■年間スケジュールのうち、特にアピールしたい講習会の1つに★を付け、アピールしたい点を具体的に記載してください。

〇〇市自主防災会員や地域住民を対象に、地域の回覧版や掲示板で告知・募集を行い、子育て中の保護者も参加しやすいように保育士資格を持つスタッフを数名配置して実施する。冒頭に30分間啓発用DVDを視聴し、成人の他、小児と乳児の入形も使い、心肺蘇生法の実技を行った後、小さな子どもに起こりうる事故への対処法、止血や誤飲などの実践的な応急処置を実施する。1年目は年間1回、2年目以降は年間2回実施する予定である。

■2025年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間〔分〕					参加人数〔人〕					使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)		
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベン ト (分)	時間内訳		※1 実 技 時 間 1 人 当 り の (分)	※1 講 習 (一 般) (人)	※1 講 習 (学 校) (人)	イ ベン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グループ		訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 当 り の 受 講 者 数 1 体 (人)	指 導 者 数 (人)		再 掲 有 資 格 指 導 者 数 (人)	訓 当 り の 指 導 者 数 1 体 (人)
						実 技	実 技 以 外						グ ル ー プ 数 <small>(グループ)</small>	1 当 り の 人 数 1 体 (人)							

※1……年間スケジュール策定にあたっては、「イベント」のみならず「講習（一般・学校）」を計画的に組み込み、人数と講習時間のバランスを考慮してください。

……募集要項上の審査基準に「(2)救命講習による普及人数（講習時間とのバランスも考慮します）」と明記しており、1人当りの実技時間が十分に確保されることも重視します。

※2……年間スケジュールで「イベント」のみの計画を策定している場合は、その理由を備考欄に記載してください（例：地元消防が講習を実施しているため、団体主催の講習が実施できない。など）。

《補足》

・【時間】及び【参加人数】の区分方について：

「講習(一般)」……一般市民などを対象に、「救命入門コース」や「普通救命講習」などの講習会等を実施

「講習(学校)」……小学生、中学生、高校生、専門学校生、大学生などを対象に、授業時間内などでの救命講習会等を実施

「イベント」……イベントでのブース出展や、祭り・フェアなどでの体験会等を実施

・【[再掲]新規人数】：予定人数のうち貴団体が行う講習会等に初めて参加する人数を記入してください。

・【グループ数】：「講習会(一般、学校)」での開催の場合は講習を行うグループ数を記入してください。なお、「イベント」での開催の場合は記入する必要はありません。

・【使用器具】：現在の保有器具数に申請中の器具数および他からの借り入れ器具数を加え、講習会等にて使用する予定の器具数を記入してください。

なお、他からの借り入れ器具を使用する場合は、【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【指導者数】：講習会等にて指導を行う全指導者数を記入していただき、自らの団体の指導者だけでは足りず手配する場合は【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【[再掲]有資格指導者数】：指導者のうち有資格指導者の人数を記入してください。

《参考》

・訓練用人形1体の1人当り実技時間計算方法：参加人数÷使用器具数（計）＝〇〇人/台（小数点以下四捨五入）…(ア)、 実技時間÷(ア)＝◎◎分（小数点以下四捨五入）＝訓練用人形1体の1人当り実技時間

・記入する行が不足する場合は追加してください。

7. 年間スケジュール及び実施方法

■2026年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間〔分〕						参加人数〔人〕						使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)		
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベン ト (分)	時間内訳		※1 実 技 時 間 1 人 当 り の (分)	※1 講習 (一般) (人)	※1 講習 (学校) (人)	イ ベン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グ ル ー プ (人)		訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 練 当 り の 受 講 者 数 1 体 (人)	指 導 者 数 (人)	再 掲 指 導 者 数 有 資 格 (人)	訓 練 当 り の 指 導 者 数 1 体 (人)			
						実 技 (分)	実 技 以 外 (分)						グ ル ー プ 数 (人)	1 当 り の 人 数 (人)									
2026年4月	〇〇救命講習会	〇〇会社 〇〇部	120			90	30	18	10				10	2	5	2	2	5	4	4	2	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人2体を使用するため、 消防から不足器具1体ならびに指導者1名の補充 を行い、実施する。	
2026年7月	〇〇まつり 防災ブース 展示	地域住民			180	180		11					50	50		3	3	17	3	3	1	・自治会夏祭り会場の防災ブースにて、展示及び訓練用人形を用いての実技講習を行う。まつりの開催時間3時間のうち、50人の参加者を呼び込み実施する。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用する。この地域では、地元消防が講習を実施。団体主催の講習は実施できないため、イベントとして開催する。	
2026年9月	〇〇市 自主防災会 救命講習会★	〇〇市自主防災会 員・地域住民	120			90	30	23	12				12	3	4	3	3	4	2	2	1	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用し、実施する。	
2026年11月	〇〇救命 入門コース	〇〇小学校 3年生		90		75	15	15					120	120	12	10	24	24	5	6	3	0	・DVDによる講義を15分実施した後、12班に分かれて実技を行う。 ・訓練用人形は成人12体、小児12体を使用するため、消防から不足器具を手配する。 ・指導者6人の内訳は、有資格者3人と補佐として配置する普通救命講習修了者3人である。
2027年2月	〇〇市 自主防災会 救命講習会★	〇〇市自主防災会 員・地域住民	120			90	30	23	12				12	3	4	3	3	4	2	2	1	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用し、実施する。	
内訳			360	90	180	525	105	—	34	120	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計			630			—			204			204			—			—			—		

特にアピールしたい講習会名称の後ろに★を付け、
アピールしたい点を下記へ具体的に記載してください。

■年間スケジュールのうち、特にアピールしたい講習会の1つに★を付け、アピールしたい点を具体的に記載してください。

〇〇市自主防災会員や地域住民を対象に、地域の回覧版や掲示板で告知・募集を行い、子育て中の保護者も参加しやすいように保育士資格を持つスタッフを数名配置して実施する。
冒頭に30分間啓発用DVDを視聴し、成人の他、小児と乳児の人形も使い、心肺蘇生法の実技を行った後、小さな子どもに起こりうる事故への対処法、止血や誤飲などの実践的な応急処置を実施する。
1年目は年間1回、2年目以降は年間2回実施する予定である。

■2026年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間〔分〕					参加人数〔人〕					使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)		
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベ ン ト (分)	時間内訳		※1 実 技 時 間 1 人 当 り の (分)	※1 講 習 (一 般) (人)	※1 講 習 (学 校) (人)	イ ベ ン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グループ		訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 当 り の 受 講 者 数 1 体 (人)	指 導 者 数 (人)		再 掲 指 導 者 数 有 資 格 (人)	訓 当 り の 指 導 者 数 1 体 (人)
						実 技	実 技 以 外						グ ル ー プ 数 <small>(グループ)</small>	1 当 り の 人 数 1 体 (人)							

※1……年間スケジュール策定にあたっては、「イベント」のみならず「講習（一般・学校）」を計画的に組み込み、人数と講習時間のバランスを考慮してください。

……募集要項上の審査基準に「(2)救命講習による普及人数（講習時間とのバランスも考慮します）」と明記しており、1人当りの実技時間が十分に確保されることも重視します。

※2……年間スケジュールで「イベント」のみの計画を策定している場合は、その理由を備考欄に記載してください（例：地元消防が講習を実施しているため、団体主催の講習が実施できない。など）。

《補足》

・【時間】及び【参加人数】の区分方について：

「講習(一般)」……一般市民などを対象に、「救命入門コース」や「普通救命講習」などの講習会等を実施

「講習(学校)」……小学生、中学生、高校生、専門学校生、大学生などを対象に、授業時間内などでの救命講習会等を実施

「イベント」……イベントでのブース出展や、祭り・フェアなどでの体験会等を実施

・【[再掲]新規人数】：予定人数のうち貴団体が行う講習会等に初めて参加する人数を記入してください。

・【グループ数】：「講習会(一般、学校)」での開催の場合は講習を行うグループ数を記入してください。なお、「イベント」での開催の場合は記入する必要はありません。

・【使用器具】：現在の保有器具数に申請中の器具数および他からの借り入れ器具数を加え、講習会等にて使用する予定の器具数を記入してください。

なお、他からの借り入れ器具を使用する場合は、【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【指導者数】：講習会等にて指導を行う全指導者数を記入していただき、自らの団体の指導者だけでは足りず手配する場合は【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【[再掲]有資格指導者数】：指導者のうち有資格指導者の人数を記入してください。

《参考》

・訓練用人形1体の1人当り実技時間計算方法：参加人数÷使用器具数（計）＝〇〇人/台（小数点以下四捨五入）…(ア)、 実技時間÷(ア)＝◎◎分（小数点以下四捨五入）＝訓練用人形1体の1人当り実技時間

・記入する行が不足する場合は追加してください。

7. 年間スケジュール及び実施方法

■2027年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間〔分〕						参加人数〔人〕						使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)	
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベン ト (分)	時間内訳		※1 実 技 時 間 1 人 当 り の (分)	※1 講習 (一般) (人)	※1 講習 (学校) (人)	イ ベン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グ ル ー プ (人)		訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 練 当 り の 受 講 者 1 体 数 (人)	指 導 者 数 (人)	再 掲 指 導 者 有 資 格 数 (人)	訓 練 当 り の 指 導 者 1 体 数 (人)		
						実 技 (分)	実 技 以 外 (分)						グ ル ー プ 数 (人)	当 り の 人 数 (人)								
2027年4月	〇〇救命講習会	〇〇会社 〇〇部	120			90	30	18	10			10	2	5	2	2	5	4	4	2	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人2体を使用するため、 消防から不足器具1体ならびに指導者1名の補充 を行い、実施する。	
2027年7月	〇〇まつり 防災ブース 展示	地域住民			180	180		11		50	50				3	3	17	3	3	1	・自治会夏祭り会場の防災ブースにて、展示及び訓練用人形を用いての実技講習を行う。まつりの開催時間3時間のうち、50人の参加者を呼び込み実施する。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用する。この地域では、地元消防が講習を実施。団体主催の講習は実施できないため、イベントとして開催する。	
2027年9月	〇〇市 自主防災会 救命講習会★	〇〇市自主防災会 員・地域住民	120			90	30	23	12			12	3	4	3	3	4	2	2	1	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用し、実施する。	
2027年11月	〇〇救命 入門コース	〇〇小学校 3年生		90		75	15	15				120	120	12	10	24	24	5	6	3	0	・DVDによる講義を15分実施した後、12班に分かれて実技を行う。 ・訓練用人形は成人12体、小児12体を使用するため、消防から不足器具を手配する。 ・指導者6人の内訳は、有資格者3人と補佐として配置する普通救命講習修了者3人である。
2028年2月	〇〇市 自主防災会 救命講習会★	〇〇市自主防災会 員・地域住民	120			90	30	23	12			12	3	4	3	3	4	2	2	1	・実技以外として、DVDを用いた講習を30分行う。 ・訓練用人形は成人・小児・乳児各1体を使用し、実施する。	
内訳			360	90	180	525	105	—	34	120	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
合計			630			—			204			204			—			—				

申請中の器具数を提供された前提での計画を策定してください。

使用する訓練用入形の種類(成人、小児、乳児)と数を記載してください。

実施日が決まっている場合は、可能な限り記載してください。

【1. 提供器具】希望数+【5. 現在の保有器具数】を超える場合は**不足器具の手配方法**を、
【6. 指導者の在籍状況】の人数を超える場合は、**指導者の手配方法**を記載してください。

特にアピールしたい講習会名称の後ろに★を付け、
アピールしたい点を下記へ具体的に記載してください。

■年間スケジュールのうち、特にアピールしたい講習会の1つに★を付け、アピールしたい点を具体的に記載してください。

〇〇市自主防災会員や地域住民を対象に、地域の回覧版や掲示板で告知・募集を行い、子育て中の保護者も参加しやすいように保育士資格を持つスタッフを数名配置して実施する。
冒頭に30分間啓発用DVDを視聴し、成人の他、小児と乳児の人形も使い、心肺蘇生法の実技を行った後、小さな子どもに起こりうる事故への対処法、止血や誤飲などの実践的な応急処置を実施する。
1年目は年間1回、2年目以降は年間2回実施する予定である。

■2027年度 年間スケジュール

時期	講習会名称	参加対象者	時間〔分〕					参加人数〔人〕					使用器具			指導者			備考欄 (講習内容、不足器具や指導者の手配方法等)		
			※1 講習 (一般) (分)	※1 講習 (学校) (分)	※2 イ ベ ン ト (分)	時間内訳		※1 実 技 時 間 1 人 当 り の (分)	※1 講 習 (一 般) (人)	※1 講 習 (学 校) (人)	イ ベ ン ト (人)	再 掲 新 規 人 数 (人)	グループ		訓 練 用 A E D (台)	訓 練 用 人 形 (体)	訓 当 り の 受 講 者 数 1 体 (人)	指 導 者 数 (人)		再 掲 指 導 者 数 有 資 格 (人)	訓 当 り の 指 導 者 数 1 体 (人)
						実 技	実 技 以 外						グ ル ー プ 数 <small>(グループ)</small>	1 当 り の 人 数 1 体 (人)							

※1……年間スケジュール策定にあたっては、「イベント」のみならず「講習（一般・学校）」を計画的に組み込み、人数と講習時間のバランスを考慮してください。

……募集要項上の審査基準に「(2)救命講習による普及人数（講習時間とのバランスも考慮します）」と明記しており、1人当りの実技時間が十分に確保されることも重視します。

※2……年間スケジュールで「イベント」のみの計画を策定している場合は、その理由を備考欄に記載してください（例：地元消防が講習を実施しているため、団体主催の講習が実施できない。など）。

《補足》

・【時間】及び【参加人数】の区分方について：

「講習(一般)」……一般市民などを対象に、「救命入門コース」や「普通救命講習」などの講習会等を実施

「講習(学校)」……小学生、中学生、高校生、専門学校生、大学生などを対象に、授業時間内などでの救命講習会等を実施

「イベント」……イベントでのブース出展や、祭り・フェアなどでの体験会等を実施

・【[再掲]新規人数】：予定人数のうち貴団体が行う講習会等に初めて参加する人数を記入してください。

・【グループ数】：「講習会(一般、学校)」での開催の場合は講習を行うグループ数を記入してください。なお、「イベント」での開催の場合は記入する必要はありません。

・【使用器具】：現在の保有器具数に申請中の器具数および他からの借り入れ器具数を加え、講習会等にて使用する予定の器具数を記入してください。

なお、他からの借り入れ器具を使用する場合は、【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【指導者数】：講習会等にて指導を行う全指導者数を記入していただき、自らの団体の指導者だけでは足りず手配する場合は【備考欄】にその手配方法を記載してください。

・【[再掲]有資格指導者数】：指導者のうち有資格指導者の人数を記入してください。

《参考》

・訓練用人形1体の1人当り実技時間計算方法：参加人数÷使用器具数（計）＝〇〇人/台（小数点以下四捨五入）…(ア)、 実技時間÷(ア)＝◎◎分（小数点以下四捨五入）＝訓練用人形1体の1人当り実技時間

・記入する行が不足する場合は追加してください。